

花の木

令和5年9月29日発行

発行者 校長 熊切 隆

令和5年度 育成を目指す資質・能力：『認める力』・『伝える力』・『チャレンジする力』

半年を振り返り

学校長 熊切 隆



日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。早いもので4月より半年が過ぎようとしていますが、ここまでの教育活動を振り返ると、入学式・始業式をはじめ、修学旅行・自然教室などの校外学習、球技大会、定期テストなど、様々な教育活動を実施することができました。皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

年度初めより、あらゆる場面で「認める力」「伝える力」「チャレンジする力」の育成を意識した教育活動を展開してきました。大人が意識していないことは当然子どもも意識できないわけで、行事はもちろん、日々の授業や部活動、委員会活動など、日頃の生活場面で生徒が自分事として意識できることを大切に、学校としてもチャレンジしてきました。目指すゴールイメージがあり、今の課題を受け止めながらその差を埋めていくために、学校での教育活動があると思います。もちろん、学校だけでは不十分なところがあり保護者や地域の皆様とスクラムを組ませていただき、将来にわたって学ぶ土台となる力を生徒に身に付けてほしいと願っております。生徒自らが複数の選択をもち、自ら意思決定して行動する。引き続き、この過程を大切にしていきます。

変化の激しい社会の中で、自律して「誰もが」「安心して」「豊か」に生活するためには、一人ひとりが自分のためだけでなく、誰かのために主体的に役割をもち、仲間とともに協働的に問題解決をしていくことが求められています。そのためにも、引き続き後期も「認める」「伝える」「チャレンジする」を意識して、教育活動を展開していきます。

英語弁論大会

3年



英語弁論大会は私にとって大きな挑戦でした。スピーチの練習と並行して、習い事などがあり、時間の使い方に苦勞しました。原稿作成、暗唱や発音、間の取り方などは、想像以上に苦勞しました。

他の参加者のスピーチのレベルは非常に高く、会場は緊張感に満ちていました。そのような雰囲気の中でスピーチをできたことは良い^{けいけん}経験になりました。

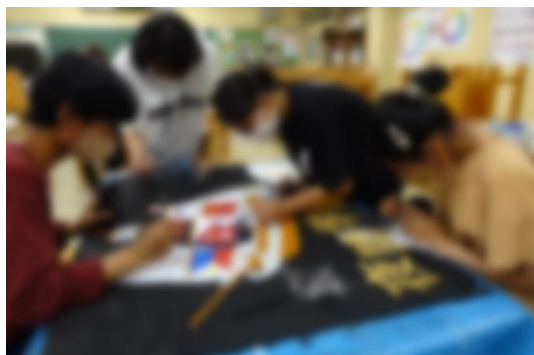
大会へ参加したことで、スピーチ力を向上させることができ、他校の参加者と交流することもできました。

指導してくださった先生方、応援してくださった先生方、ありがとうございました。おかげで、自信をもってスピーチをすることができました。

夜間学級より

夜間学級担当
新妻 蘭

夜間学級では、今年度も3学年全員で協力して学級旗を作成しました。デザインと下絵は3年生が担当して、夜空に船が力強く飛び立つイメージになりました。船の帆には、夜間学級のみんなの国旗と蒔田中学校の校章が描かれています。色を塗るのが得意な人も、そうでない人も、うまく分担を考えて、とても細かなデザインを根気よく着色していきました。3年生が目指した、「シンプルでかわいい」が伝わる学級旗ができあがりました。



横浜こども会議

生徒会担当
森下 智史



8月31日に南区役所にて「南区子ども会議」が開催されました。南区内の小中学校・高等学校の代表児童・生徒が集まり、話し合いを行いました。今年度のテーマは「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～いじめをなくすために、一人ひとりができること～」。蒔田中学校からは3年生生徒会長の池田さんと2年副会長坪井さんが参加しました。同じブロックの蒔田小・南太田小の児童とともに、事前にとった「SNS上でのトラブル」に関するアンケート結果をもとに、現状とそれに対して自分たちができることを、他の中学校ブロックの発表を参考にしながら、話し合うことができました。

一人一探究作品展

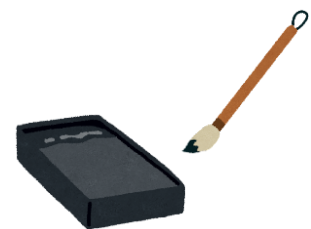
総合担当
下島 一也



一人一探究とは、長期休業を利用して授業などで興味をもったことや関心のあることなど、自分で課題を見つけ探究活動を行うものです。8月30日に全校生徒の作品を学年ごとに見学しました。保護者の方々にも多数ご来場いただきましてありがとうございました。優秀作品には金賞が贈られ、花ノ木祭の展示部門（10月26日）で再び展示されます。「意外と知らない！？不思議な動物の鳴き声の世界」「MBTI心理学」「菌とカビの培養」「ビタミンCを1番多くとれる果物は何か」「10円はどんな液でどれだけきれいになるか」「結晶づくり」など、力作ぞろいです。ぜひ、ご覧になってください。

席書大会

総合担当
井上 昌哉



夏休みも後半にさしかかる8月17日、南区席書大会が行われました。昨年度まではコロナ禍の影響で各校での開催でしたが、今年度から各区の担当校での開催に戻り、南が丘中学校に訪問してきました。

硬筆部門で3名、毛筆部門で4名の合計7名で参加しました。硬筆は決められた用紙に各学年で設定された10行で構成される文章を書く形式、毛筆は設定された言葉を行書か楷書で書いていく形式で行われました。他校での開催でしたが、どの生徒もよい緊張感で席書に臨めたように感じます。

制限時間は1時間、毛筆・硬筆3枚の本番用紙から、一番の作品を提出します。セミの鳴き声が響く中、集中して作品を仕上げられたのではないのでしょうか。結果は後日学校に送られてきます。

防災ウィーク

総合担当
下島 一也

蒔田中学校のこれまでの総合的な学習の時間は、『防災』及び『キャリア』に重点を置いて取り組んできました。令和4年度からは育成を目指す資質・能力として【認める力】【伝える力】【チャレンジする力】を挙げています。また、高等学校のカリキュラムにおいて総合的な探究の時間が始まりましたが、中学校においても高等学校と同様に探究的な学びが求められています。そこで、すべての教育活動において探究的な学習を進めるために①防災 week ②多文化共生 week ③キャリア week の3大 week の設定をし、意識を高め、さらなる風土醸成を目指すこととしました。8月28日から9月1日までの1週間を①防災 week とし、様々な自然災害や防災の取り組みや工夫について調べたり、防災標語を考えたりしました。

体育祭

体育祭実行委員長



僕は今回の体育祭が3年間やった中で1番の思い出に残りました。なぜなら、1・2年生の時に憧れていた選手宣誓や大部分での運営ができたからです。そして全学年が優勝に向かって一致団結し、最後までやり抜いたことが今までの人生の中でも達成感が大きく、とても気持ちの良いものでした。最初はあまり体育祭に乗り気でない友達もいましたが、体育祭当日は全力で楽しんでいたので喜ばしい気持ちにもなれました。このように達成感や協力する気持ちは、花ノ木祭でも引き継がれると思うので、花ノ木祭もクラスで協力して生徒一人ひとりが楽しめる祭りにしていきましょう！！！！

